

産業廃棄物処理計画書

2024年 06月 27日

静岡県知事殿

提出者

住所 静岡県磐田市松之木島767番地

氏名 DOWAメタル株式会社

代表取締役社長 風呂 正博

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0539 - 62 - 3131

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

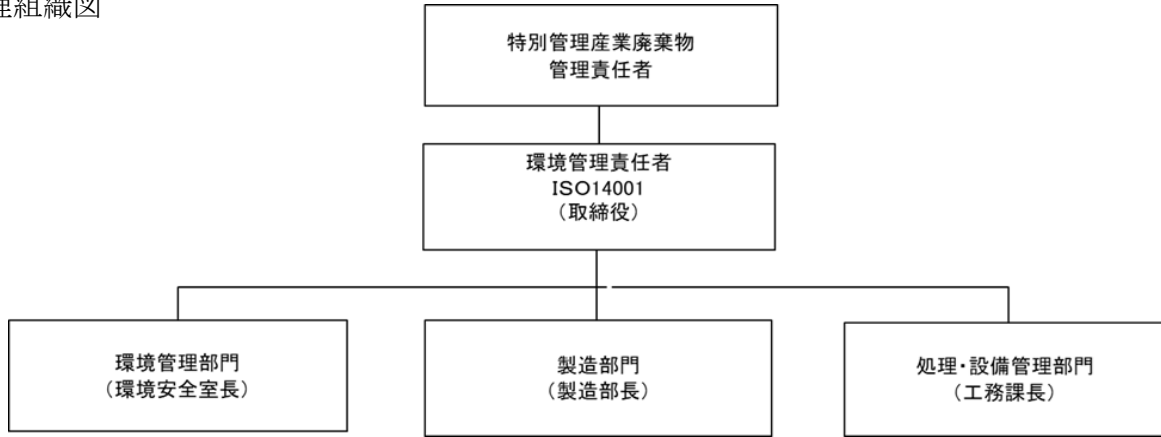
事業場の名称	DOWAメタル株式会社		
事業場の所在地	静岡県	磐田市	松之木島767番地
計画期間	2024/4/1 ~ 2025/3/31		

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	非鉄金属製造業
② 事業の規模	78億円（2023年度売上高）
③ 従業員数	334名（正社員313名、その他の社員21名）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>産業廃棄物フローシート</p>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)  
管理組織図



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	排出量
	無機性汚泥	364.040 t
	廃油	280.151 t
	油でい	7.310 t
	廃酸	13.840 t
	廃アルカリ	664.810 t
	廃プラスチック類	49.120 t
	木くず	158.860 t
	金属くず	0.401 t
	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	3.370 t
	鉍さい	99.080 t
	(これまでに実施した取組) ・ 廃アルカリ水の循環使用 ・ 廃油濃縮装置によるリサイクル油化、上澄み油の有価物化 ・ 廃プラスチック分別による有価物化 ・ 木くずパレット修理による再利用化	
②目標	【目標】	
	産業廃棄物の種類	排出量
	無機性汚泥	300.000 t
	廃油	260.000 t
	油でい	16.000 t

②計画	廃酸	14.000 t
	廃アルカリ	645.000 t
	廃プラスチック類	48.000 t
	木くず	150.000 t
	金属くず	0.400 t
	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	3.000 t
	鉱さい	100.000 t
	(今後実施する予定の取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・木くず一梱包形態変更により返却パレットの削減</li> <li>・廃プラスチックープラスチックパレットの有価物化</li> <li>・汚泥の有価物化</li> </ul>	
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃プラスチックは産廃と有価物の置き場を変えて分別</li> <li>・廃棄物種類及び分別について、全社員に対し教育を実施</li> </ul>	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄パレット（木くず）の分別による一部有価物化</li> <li>・廃棄物種類及び分別について、全社員に対し教育を実施</li> </ul>	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
	(今後実施する予定の取組)	



		0.000 t	0.000 t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
	(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和 5 年度）実績】

産業廃棄物の種類	①優良認定処理業者への処理委託量 ②再生利用業者への処理委託量 ③認定熱回収業者への処理委託量 ④認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量				全処理委託量 (t)
	① (t)	② (t)	③ (t)	④ (t)	
無機性汚泥	145.540	364.040	0.000	0.000	364.040
廃油	280.151	275.640	4.510	0.000	280.151
油でい	7.310	7.310	0.000	0.000	7.310
廃酸	13.840	13.840	0.000	0.000	13.840
廃アルカリ	664.810	618.520	0.000	0.000	664.810
廃プラスチック類	28.830	48.170	0.000	0.000	49.120
木くず	158.860	158.860	0.000	0.000	158.860
金属くず	0.401	0.400	0.000	0.000	0.401
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	3.370	0.000	0.000	0.000	3.370
鋳さい	0.000	99.080	0.000	0.000	99.080
(これまでに実施した取組) ・可能な限り優良認定業者を選定し処分を依頼 ・可能な限り再生処理を委託し、埋め立て処分量を削減					

①現状



産業廃棄物の種類	【目標】				
	① (t)	② (t)	③ (t)	④ (t)	全処理委託量 (t)
無機性汚泥	140.000	300.000	0.000	0.000	300.000
廃油	260.000	255.000	4.500	0.000	260.000
油でい	16.000	16.000	0.000	0.000	16.000
廃酸	14.000	14.000	0.000	0.000	14.000
廃アルカリ	645.000	600.000	0.000	0.000	645.000
廃プラスチック類	30.000	48.000	0.000	0.000	48.000
木くず	150.000	150.000	0.000	0.000	150.000
金属くず	0.400	0.400	0.000	0.000	0.400
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	3.000	0.000	0.000	0.000	3.000
鉍さい	0.000	100.000	0.000	0.000	100.000
(今後実施する予定の取組) ・可能な限り優良認定業者を選定する ・可能な限り再生処理を委託し埋立て処分量の低減をはかる					
②計画					
※事務処理欄					



(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。